

モンタナ州：小麦作柄と気象状況

2004年9月21日

2004年9月19日現在

9月19日に終わる1週間の天候は余り優れず、各地に驟雨が有り1週間の州平均農作業稼働日数は5.3日であった。NC地区では最高気温は66~86度Fと振れが有ったが、殆どの観測所の記録は66~68度F程度であった。NE地区の方が気温は高く、最高気温は各地で80~89度Fであった。

春小麦の収穫が進み、HRSは96%が完熟し、84%が収穫された。昨年より10日以上遅れた状態であった。Durum小麦は51%が収穫され、未だ登熟中の小麦も残っていた。8月下旬からの天候不順より特にDurumは例年より収穫が遅れた。収穫が遅れている圃場の品質が心配されている。

冬小麦は2005年産の播種がNC並びにNEを中心に進んだ。両地区では夫々69%、51%の完了であった。全州では44%の完了で、3%にて出穂した。土壌水分が例年より良好であり出芽は早い。

土壌水分：9月19日現在

Topsoil

	This week	Last week	Last year	5-yr. Ave.
Very short (%)	20	24	49	36
Short (%)	45	38	31	37
Adequate (%)	33	35	17	26
Surplus (%)	2	3	3	1

Subsoil

Very short (%)	39	40	62	46
Short (%)	41	38	32	36
Adequate (%)	19	21	5	18
Surplus (%)	1	1	1	0

小麦生育状況：9月19日現在

<i>Winter wheat</i>	This Week	Last Week	Last Year	5-year Ave.
Planted (%)	44	22	19	23
Emerged (%)	3	NA	0	1
<i>Spring wheat</i>				
Ripe (%)	96	92	100	98
Harvested (%)	84	74	100	92

Source: Montana Agricultural statistics Service

当該作柄と気象報告に関するご質問は下記にお願い致します。

小川正晃：<mailto:ogawa.max@omicnet.com>